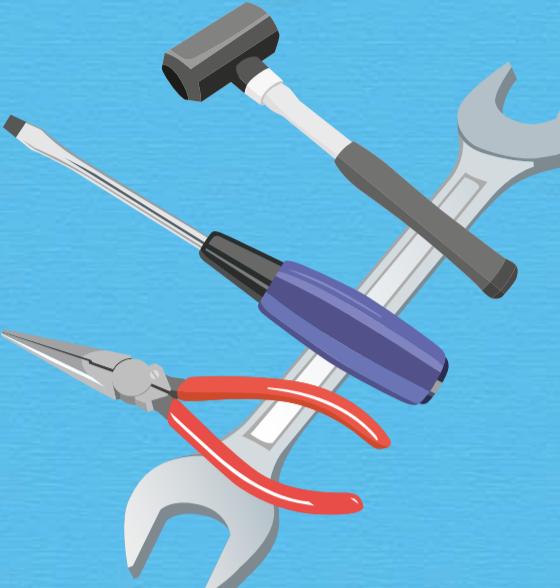


DIY



■主な木材の種類

ムク材	パイン材	マツ科マツ属の木材。木目が美しく、また材質が軟らかいため切ったり、クギを打ったりの加工がしやすい。強度はあるものの、割れやすく反りやすい欠点がある。
	スギ材	軟らかくて加工がしやすく、針葉樹のわりにはゆがみが少ない。ただ、木肌はパイン材に比べて粗い。
	ラワン材	東南アジア原産の広葉樹。針葉樹のような木目はほとんどなく色が濃い。針葉樹に比べて木質が硬いのでその分加工がしにくいが、割れ、反りの心配はほとんどない。
集成材		十分に乾燥させた木片を接着させた板。木目の美しさではムク材にかなわないが、反りやくのいが少なく、サイズが豊富で安価なので家具など、いろいろな目的に使える。
ランバーコア		集成材の表面に化粧板を貼ったもの。表面の木目を生かしたい場合は集成材、表面を塗装する場合はランバーコアといったように使い分けるとよい。
合板		板を貼り合わせて加工したもので、厚さも様々なタイプが揃っている。

木工工作の楽しみ方

One Point Advice

ノコギリの使い方

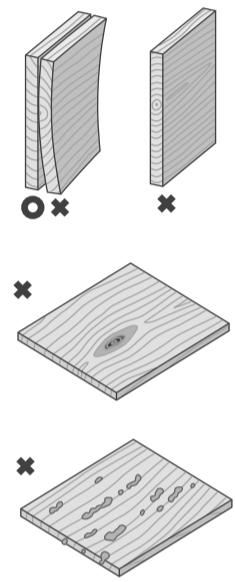
ノコギリで木を切る場合は、必ず線を引いてから。厚みの分もきちんと線を引いておかないと、斜めに曲がって切れてしまうこともあるので注意しましょう。また、木目に垂直に切る場合は横引き刃、木目に平行に切る場合は、縦引き刃を使います。



●ムク板の選び方

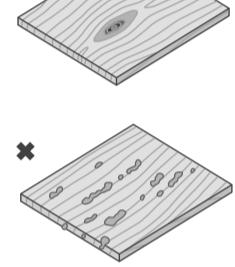
《反っていないものを選ぶ》

断面の木口を見て反っていないかどうかチェックを。板を1枚見てもよくわからないが、2枚比べて見るとどちらが反っているかよくわかる。また、木口に年輪の中心があるものは、あとで曲がってくる可能性が高いので、避けたほうが無難。



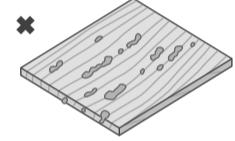
《節が黒くなっているものは避ける》

節が多いものはできるだけ避けるように。特に節が真っ黒になっているもの、節のまわりに樹皮がついているものは後で穴があくことがあるので要注意。



《表面にヤニがついているものは避ける》

パインなどはヤニが多いのが特徴だが、それが表面にベタついているようなものは避けること。ヤニつぼという節が斜めに伸びたような部分があるものも避けたほうがよい。



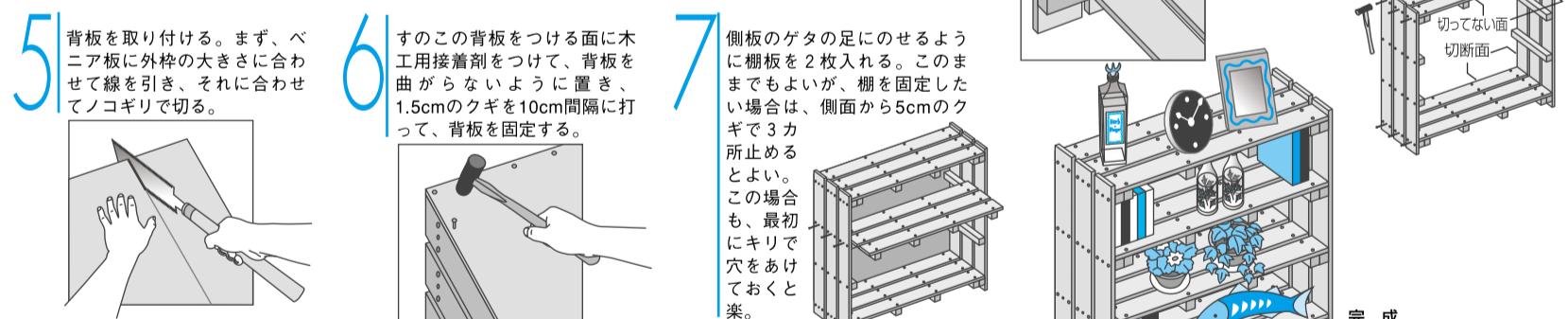
木工工作の楽しみ方

好みや、すき間にちょうど合うサイズの家具をみつけるのはたいへん。そんな時、自分で家具を作れたらどんなにいいかと思います。基礎のポイントを押さえて、順序よく作業すれば、手作り家具もそんなに難しくはありません。ここでは、市販のすのこ、カラーボックスを使って、初心者でも簡単にできる家具などの作り方をご紹介します。

すのこを使った本箱

用意するもの

- 木製すのこ（板が偶数のもの） 3枚
- 厚さ4mmのペニア板（すのこの長辺×長辺）
- 丸クギ 5cmを24本、1.5cmを60本
- 木工用接着剤
- ノコギリ
- カナヅチ
- 四つ目ギリ
- サンガネ



カラーBOXを使った収納ベンチ

用意するもの

- カラーBOX（60cm幅の3段タイプ）
- 1cm角の模型材（約58cmを8本とれる長さ）
- ノコギリ
- ゼリー状瞬間接着剤
- 集成材あるいはランバーコア（カラーBOXのサイズに合わせる）
- サンダペーパー（240番）
- カナヅチ
- 丸クギ 1.5cmを4本
- 床用水性ニス
- スジカイバケ

